

【凡例】

学習の目標	知	知識及び技能に関する目標。
	思	思考力、判断力、表現力等に関する目標。
	学	学びに向かう力、人間性等に関する目標。

観点別評価	知	知識・技能に関する評価規準。		
規準	思	思考・判断・表現に関する評価規準。	[発想・構想] 「思考・判断・表現」の発想・構想に関する評価規準。 [鑑賞] 「思考・判断・表現」の鑑賞に関する評価規準。	
	主	主体的に学習に取り組む態度に関する評価規準。	[態表] 「主体的に学習に取り組む態度」の表現に関する評価規準。 [態鑑] 「主体的に学習に取り組む態度」の鑑賞に関する評価規準。	

学年	題材名	教科書 ページ	学習指導要領との関連		学習の目標	観点別評価規準		
			領域分野	各学年の内容				
1	スケッチブックから広がる	10-13	表現・鑑賞 (絵や彫刻など)	[共通事項] (1) アイ	知 ものの見方やとらえ方を理解し、描き方を工夫して表す。	知	知識	身近なものの形や色彩などが感情にもたらず効果や、造形的な特徴などをもとに、身近なものがもつよさや美しさなどを全体のイメージでとらえることを理解している。
				A表現 (2) ア(ア)			技能	描画材料の生かし方などを身につけ、意図に応じて工夫して表している。
				A表現 (1) ア(ア)	思 身近なもののよさや美しさを感じ取り、表したいことを考える。	思	発想・構想	身近なものの特徴、よさや美しさから主題を生み出し、描きたいものを考えながら心豊かに表現する構想を練っている。
				B鑑賞 (1) ア(ア)			鑑賞	造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を広げている。
				学年の目標 (3)	学 身近なものや自然を描くことに関心をもち、主体的に学習に取り組む。	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、身近なものや自然がもつ特徴、よさや美しさをもとに表す学習活動に楽しく取り組もうとしている。
							態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、身近なものなどを表した作品を鑑賞する学習活動に楽しく取り組もうとしている。

1	その人らしさが大切	14-17	（絵や彫刻など） 表現・鑑賞	〔共通事項〕 (1) アイ	知	色彩や材料などの性質を理解し、身近な人の特徴などを表す方法を工夫する。	知	知識	形や色彩などが感情にもたらす効果や、人体がもつ動きや量感など造形的な特徴などをもとに、よさや美しさ、生命感を全体のイメージでとらえることを理解している。
				A表現 (2) ア(ア) (イ)				技能	描画材料の生かし方を身につけ、意図に応じて描き方を工夫し、描画材料の特性などから制作の順序を考え、見通しをもって表している。
				A表現 (1) ア(ア)	思	身近な人の人柄などから主題を考えて、構想を練るとともに、表されたよさや美しさを味わう。	思	発想・	人体から感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、生命感などから主題を生み出し、全体の構成を考えながら心豊かに表現する構想を練っている。
				B鑑賞 (1) ア(ア)				鑑賞	人体の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。
				学年の目標 (3)	学	身近な人の姿を見つめ、その人らしさを表すことに関心を持ち、主体的に学習に取り組む。	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、人体がもつ形や色彩、生命感などのよさや美しさをもとに身近な人を表す学習活動に楽しく取り組もうとしている。
				態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、人体がもつ形や色彩、生命感などを表した作品を鑑賞する学習活動に楽しく取り組もうとしている。				
1	形と色彩の響き合い	18・19	（絵や彫刻など） 表現・鑑賞	〔共通事項〕 (1) アイ	知	形や色彩の組み合わせから生まれる効果などを理解し、色使いや筆使いを工夫して表す。	知	知識	形や色彩の組み合わせが感情にもたらす効果や造形的な特徴をもとに、全体のイメージでとらえることを理解している。
				A表現 (2) ア(ア)				技能	描画材料の生かし方を身につけ、意図に応じて描き方を工夫して表している。
				A表現 (1) ア(ア)	思	形や色彩の造形的な特徴から発想を広げ、それらを組み合わせることで表現の構想を練ったり、作品のよさや美しさを味わったりする。	思	発想・	偶然から生まれた形や色彩の特徴や美しさ、組み合わせの面白さなどから主題を生み出し、全体の構成を考えながら心豊かに表現する構想を練っている。
				B鑑賞 (1) ア(ア)				鑑賞	線や色彩による表現の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。
				学年の目標 (3)	学	形や色彩の組み合わせから生まれる効果などに関心を持ち、主体的に学習に取り組む。	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、偶然から生まれる形や色彩のよさや美しさをもとに抽象的に表す学習活動に楽しく取り組もうとしている。
				態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、抽象的に表現された作品を鑑賞する学習活動に楽しく取り組もうとしている。				

1	木版画の面白さ	20・21	（絵や彫刻など） 表現・鑑賞	〔共通事項〕 (1) アイ	知	木版画の表現方法やその効果を理解するとともに、木版画の特徴を生かして工夫して表す。	知	知識	木版画の表現を通して、形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをもとに、全体のイメージでとらえることを理解している。
				A表現 (2) ア (ア)(イ)				技能	木版画の表現方法を身につけ、意図に応じて工夫し、制作の順序を考えながら見通しをもって表している。
				A表現 (1) ア(ア)	思	木版画の表現の効果から発想し、主題を考えて構想を練るとともに、木版画のよさや美しさを味わう。	思	発想・ 構想	木版画の表現を通して、形や色彩の特徴や美しさ、版表現の面白さなどから主題を生み出し、画面全体と部分との関係などを考えながら心豊かに表現する構想を練っている。
				B鑑賞 (1) ア(ア)				鑑賞	木版画による表現のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図などについて考え、見方や感じ方を広げている。
				学年の目標 (3)	学	木版画に関心を持ち、主体的に学習に取り組む。	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、形や色彩をもとに木版画で表す学習活動に楽しく取り組もうとしている。
								態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、木版画による表現を用いた作品を鑑賞する学習活動に楽しく取り組もうとしている。

1	生き生きとした姿を表す	22-25	（絵や彫刻など） 表現・鑑賞	〔共通事項〕 (1) アイ	知	人間や動物の動きや形の特徴を理解し、立体的に表す方法を工夫する。	知	知識	形や色彩などが感情にもたらす効果や、人間や動物がもつ動きや量感など造形的な特徴などをもとに、よさや美しさ、生命感を全体のイメージでとらえることを理解している。
				A表現 (2) ア (ア)(イ)				技能	材料の生かし方を身につけ、意図に応じて制作方法を工夫し、材料の特性などから制作の順序を考え、見通しをもって表している。
				A表現 (1) ア(ア)	思	動きや特徴などから発想し、形や色彩、材料などの効果を考えて構想するとともに、そのよさや美しさを味わう。	思	発想・ 構想	人間や動物から感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、生命感などから主題を生み出し、全体の構成を考えながら心豊かに表現する構想を練っている。
				B鑑賞 (1) ア(ア)				鑑賞	作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。
				学年の目標 (3)	学	人間や動物の動きの表現に関心を持ち、主体的に学習に取り組む。	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、人間や動物がもつよさや美しさをもとに彫刻で表す学習活動に楽しく取り組もうとしている。
								態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、人間や動物がもつ形や色彩、生命感などを表した彫刻作品を鑑賞する学習活動に楽しく取り組もうとしている。

1	江戸の美術の面白さ	26-33	(絵や彫刻など) 鑑賞	[共通事項] (1) アイ	知	江戸時代の美術の特徴を理解する。	知	知識	形や色彩などの性質や、それらが感情にもたらす効果をもとに、全体のイメージや作風でとらえることを理解している。
				B鑑賞 (1) ア(ア)イ (イ)	思	江戸時代の美術の造形的な特徴について見方や感じ方を広げて、そのよさや美しさを味わう。	思	発想・鑑賞	江戸時代の美術作品に見られる表現の特質などから造形的なよさや美しさを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。
				学年の目標 (3)	学	江戸時代の美術に関心を持ち、主体的に鑑賞する。	主	態表 態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、江戸時代の美術作品のよさや美しさを感じ取り、関連する美術文化を考えるなどして見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に楽しく取り組もうとしている。
1	構成の美しさ	36-39	(デザインや鑑賞など)	[共通事項] (1) アイ	知	形や色彩などの特徴を理解し、意図に応じて単純化や繰り返しなどの表し方を工夫する。	知	知識	形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果などをもとに、全体のイメージでとらえることを理解している。
				A表現 (2) ア (ア)(イ)	知		技能	材料や用具の生かし方などを身につけ、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考え、見通しをもって表している。	
				A表現 (1) イ (ア)	思	装飾の目的や、社会や文化とのかかわりから発想し、そのデザインのよさや美しさを味わう。	思	発想・鑑賞	構成や装飾の目的や条件などをもとに、対象の特徴などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考えながら、表現する構想を練っている。
B鑑賞 (1) ア(イ)イ (イ)	思	構成や装飾の目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	思	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、構成や装飾の目的や機能をもとに表す学習活動に楽しく取り組もうとしている。				
学年の目標 (3)	学	構成の美しさや生活を豊かにする模様のデザインに関心を持ち、主体的に学習に取り組む。	主	態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、構成や装飾の目的や機能をもった作品を鑑賞する学習活動に楽しく取り組もうとしている。				

1	イメージを伝える形	40-43	（デザイン・鑑賞など）	〔共通事項〕 (1) アイ	知	ロゴタイプやさまざまなマークの機能や意図について理解し、わかりやすく伝える方法を工夫する。	知	知識	形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果などをもとに、全体のイメージでとらえることを理解している。
				A表現 (2) ア (ア)(イ)				技能	材料や用具の生かし方などを身につけ、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考え、見通しをもって表している。
				A表現 (1) イ(イ)	思	相手に伝える目的や機能をもとに、ロゴタイプやさまざまなマークを考えるとともに、そのよさや美しさを味わう。	思	発想・構想	伝える目的や条件などをもとに、伝える相手や内容のイメージなどから主題を生み出し、わかりやすさと美しさなどの調和を考えながら表現する構想を練っている。
				B鑑賞 (1) ア(イ)				鑑賞	伝える目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。
学年の目標 (3)	学	身近なロゴタイプやさまざまなマークのデザインに関心を持ち、主体的に学習に取り組む。	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、伝える目的や機能をもとにロゴタイプやマークで表す学習活動に楽しく取り組もうとしている。				
								態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、伝える目的や機能をもったロゴタイプやマークの作品を鑑賞する学習活動に楽しく取り組もうとしている。

1	ずっと木といっしょに	44-47	（デザインや工芸など） 表現・鑑賞	〔共通事項〕 (1) アイ	知	木の特徴を理解し、つくりたいものに合った制作方法を工夫する。	知	知識	形や色彩、木の性質や、それらが感情にもたらす効果などをもとに、全体のイメージでとらえることを理解している。
				A表現 (2) ア (ア)(イ)				技能	木や用具の生かし方などを身につけ、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考え、見通しをもって表している。
				A表現 (1) イ (ウ)	思	木の特徴から発想し、使いやすく、生活を楽しくする作品を構想するとともに、身近な木の作品のよさや美しさを味わう。	思	発想	使う目的や条件などをもとに、使用する者の気持ち、木の特徴などから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどの調和を考えながら、表現する構想を練っている。
				B鑑賞 (1) ア(イ)イ (ア)				鑑賞	使う目的や機能との調和の取れた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。
				学年の目標 (3)	学	生活で使う木の作品に関心を持ち、主体的に学習に取り組む。	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、生活で使う目的や機能をもとに木で表す学習活動に楽しく取り組もうとしている。
								態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、生活で使う目的や機能をもった木工作品を鑑賞する学習活動に楽しく取り組もうとしている。

1	炎と共に生きる	48-51	デザイン ・ 鑑賞 など	[共通事項] (1) アイ	知	焼き物の特徴を理解し、制作方法を工夫して表す。	知	知識	形や色彩、粘土の性質や、それらが感情にもたらす効果などをもとに、全体のイメージでとらえることを理解している。
				A表現 (2) ア (ア)(イ)				技能	粘土や用具の使い方などを身につけ、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考え、見通しをもって表している。
				A表現 (1) イ (ウ)	思	使いやすさなどから発想し、つくり方や形を構想するとともに、焼き物のよさや美しさを味わう。	思	発想	使う目的や条件などをもとに、使用する者の気持ち、焼き物の特徴などから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどの調和を考えながら、表現する構想を練っている。
				B鑑賞 (1) ア(イ)				鑑賞	使う目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。
学年の目標 (3)	学	焼き物の実用性と美しさの調和に関心を持ち、主体的に学習に取り組む。	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、生活で使う目的や機能をもとに焼き物で表す学習活動に楽しく取り組もうとしている。				
1	目を見張る楽しさ	52-53	鑑賞 や 工芸 など	[共通事項] (1) アイ	知	さまざまな工芸品の技法や伝統があることを理解する。	知	知識	形や色彩などの性質や、それらが感情にもたらす効果をもとに、全体のイメージや作風でとらえることを理解している。
								技能	
				B鑑賞 (1) ア(イ)イ (イ)	思	材料や技術、形や色彩、社会や文化とのかかわりから見方や感じ方を広げ、技巧をこらした工芸品のよさや美しさを味わう。	思	発想	
								鑑賞	技巧を凝らした工芸作品に見られる表現の特質などから造形的なよさや美しさを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。
学年の目標 (3)	学	さまざまな工芸品に関心を持ち、主体的に鑑賞する。	主	態表					
								態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、技巧を凝らした工芸作品や関連する美術文化を鑑賞する学習活動に楽しく取り組もうとしている。